

# 令和8年度 美術科 シラバス

## 1 教科の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができる。
- (2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 2 三年間の指導計画の概要

月	第1学年	第2学年	第3学年
4	・オリエンテーション (※1) ・色の基本・仕組み、色の整理	・オリエンテーション (※1) ・ポスター制作	・オリエンテーション (※1) ・色面構成
5	・アクリルガッシュの使い方 ・色づくり (明度、彩度)	↓ ↓	↓ ↓
6	・色づくり (色相環) ・色面構成の基本	↓ ↓	・色面構成、作品鑑賞 (※2)
7	・作品鑑賞 (※2) ・デッサンの基本	・作品鑑賞 (※2) ↓	・篆刻制作 ↓
9	・多色版画 (彫る)	・木彫りのティッシュボックス (彫刻)	・篆刻制作、美術史 ↓
10	・多色版画 (刷る)	↓ ↓	↓ ↓
11	・レタリングとデザインの基本	↓ ↓	・作品鑑賞 (※2) ↓
12	・作品鑑賞 (※2)	↓ ↓	↓ ↓
1	・クロッキー ・粘土を使った具象彫刻	・木彫りのティッシュボックス (色塗り)	・ブックカバー作り ↓
2		↓ ↓	↓ ↓
3	・作品鑑賞 (※2)	・作品鑑賞 (※2)	・3年間の美術のまとめ

※1 年度当初にオリエンテーション資料を配布する。

各学年に向けて学期ごとの具体的な評価項目の資料を配布する。(1年生は制作が始まった段階で配布)

※2 作品鑑賞とは生徒作品の鑑賞とともに美術史上の作品の鑑賞や、美術史などの歴史的背景の学習も含む。

### 3 授業に向けて

- (1) 美術バックと呼ばれる巾着袋の中に教科書、美術資料、絵の具、ノート（1年生はクロッキー帳）、特に2年生は教科書上下巻を配布されているので、下巻をなくさないよう注意すること。
- (2) 授業中は集中して授業に取り組み、題材に直接関係のない私語は慎むこと。  
（主体的に学習に取り組む態度内の「授業中の取り組み方」の評価に入れます。）
- (3) 授業時間は基本的に制作時間とし、思考する時間、アイデアを練る時間は授業時間外も使って考えておくこと。
- (4) 原則、作品の持ち帰り制作、放課後の居残り制作は行いません。
- (5) その他年度当初に配布したオリエンテーション資料をよく読んでおいてください。

### 4 家庭学習の方法

- (1) アイデアを練るために本で調べる、タブレットで調べる、いろいろなものを観察するなど、日常生活の中にもアイデアの種がたくさんあります。いろいろなものを幅広く見てください。
- (2) ロイロノートの振り返りを忘れずに記入しましょう。

### 5 評価の観点と項目例

#### (1) 知識・技能

- ・授業内で学習した知識、技能を理解したうえで作品を制作している。それが作品に現れている。  
（技法等が効果的に作品に使われているなど）
- ・授業内で学習した道具の使い方を守って安全かつ丁寧に使用している。
- ・定期考査による評価。
- ・ロイロノート等のワークシート、振り返り。

#### (2) 思考・判断・表現

- ・授業内で学習した知識を使って創意工夫し、より良い作品をつくっている。
- ・授業内で学習した知識を使って自分の考えをわかりやすく言語化し伝えている。
- ・定期考査による評価。
- ・ロイロノート等のワークシート、振り返り。

#### (3) 主体的に学習に取り組む態度

- ・授業中しっかりと話を聞いている。
- ・他の生徒の迷惑になるような行為なく、集中して時間を管理しながら制作している。
- ・ロイロノートの振り返りを毎回提出している。（提出期限は授業後一週間程度）
- ・ロイロノートの振り返りに授業ごとの課題と改善点が明確に記述されている。
- ・提出物を記述等含め期限内に仕上げ、提出している。